

# 令和5年度丹波の森大学講師紹介

(敬称略)

日時	講師・講義内容
<p>5月27日(土) 10時30分～12時00分 ※開講式10時～</p> <p>丹波の森公苑 多目的ルーム</p>	<p><b>角野 幸博</b> [森の中のまちのデザイン]</p> <p>丹波の森には、いくつもの「まち」があります。それぞれのまちは、丹波の森のくらしの拠点として、人々の生活をずっと支えてきました。まちは丹波の森への入り口であり、集落ともしっかりとつながっていました。ところが人口減少やモータリゼーションとともにまちなかの賑わいにかげりが見え、拠点としての機能も変化してきました。情報化の進展とともに生活スタイルが大きく変わるなかで、丹波ならではの「森の中のまち」のデザインのあり方について考えてみます。</p>
<p><b>公開講座</b></p> <p>6月3日(土) 10時00分～11時30分</p> <p>丹波篠山市民センター 多目的ホール</p>	<p><b>平田 オリザ</b> [わかりあえないことから —コミュニケーションデザインについて考える—]</p> <p>昨今、コミュニケーション能力という言葉がヒステリックなほどに叫ばれています。今回の講演では、そこで言われるコミュニケーションの本質について、演劇ワークショップの実践を通じて得た様々な知見を紹介しながら、皆さんと考えていきたいと思えます。</p>
<p>7月29日(土) 10時00分～11時30分</p> <p>丹波篠山市民センター 催事場1. 2</p>	<p><b>上甫木 昭春</b> [神宿る森と暮らし方のデザイン]</p> <p>日本各地には、社殿を有する神社が成立する前の始祖的な祭祀の場(モイドン、カミヤマ、ウタキなど)が今も僅かに残っています。そして都市域には、戦災、震災、都市化など激動の時代を切り抜けた社叢林や聖なる路傍樹などが逞しく存続しています。それらの神宿る森から、地域の健全な暮らし方を探ってみたいと思えます。</p>
<p><b>公開講座</b></p> <p>8月19日(土) 10時00分～11時30分</p> <p>丹波の森公苑 多目的ルーム</p>	<p><b>岩槻 邦男</b> [森に寿命はあるか? ---生命をデザインする]</p> <p>森は生きている、と言われる。森にも生命は宿っている。森の生命とは何だろうか? 森が生まれ、育っていく姿を考え、森の生命を突き詰めることによって、生命は死なない、という概念にまとめてみたい。森の在り方は、人との繋がりで考えられることが多いが、森自身は、人と関わりのないところ(=自然の条件下)ではどのように生きているのか、を知り、あり得べき人との関わり方を導き出したい。</p>
<p>11月25日(土) 10時00分～11時30分</p> <p>丹波の森公苑 多目的ルーム</p>	<p><b>井口 勝文</b> [風景が美しいと人は幸せになれる —地方が元気になるまちづくり—]</p> <p>人口1400人足らずの、イタリアの山奥の小さな町、メルカテッロの暮らしを紹介します。そこには夢のように美しい、田舎の豊かな暮らしが今も在ります。G7先進工業国の一員でありながらどうしてこのような素朴な暮らしの豊かさを失わずにいられるのか? 日本は何故その豊かさを見失っているのか? 兵庫県の田舎を歩くと、メルカテッロと共通する豊かさを感じることがあります。丹波の町や村は日本の地方創生のあるべき未来を示しています。そのことを自覚しましょう。</p>

日時	講師・講義内容
10月24日(火) 神戸市	<b>現地学習</b> 神戸市立森林植物園 ほか 六甲山の山並みを背景に、世界の樹々を自然に近い形で植栽している植物園などを見学します。
9月30日(土) 10時00分～10時40分  丹波の森公苑 多目的ルーム	<b>平櫛 武</b> [SDGsって何?～「はりまホッププロジェクト」を通じて～] SDGsって、聞いたことはあるけど、具体的に説明できない。「SDGsって、企業の言葉でしょ?」そんな方々に、具体的な地域活動での取組を通じて、SDGsを身近に感じて頂きます。「はりまホッププロジェクト」は、ビールの原料であるホップに着目し、街中にみどりを広げ、耕作放棄地を解消する活動です。(詳しくはグーグルで検索!)。企業が播磨で新しいライフスタイル創造にチャレンジする実践例を通じて、SDGsについて学んでみませんか?
10時50分～11時30分  丹波の森公苑 多目的ルーム	<b>上岡 典子</b> [「つながり」(=ソーシャル・キャピタル)から “地域力”を読み解く] なぜあの祭りは続けられているのか。なぜあの地域の人たちは楽しみに暮らしているのか。地域での暮らしには、電気水道、交通通信、医療福祉、商業などの生活インフラと、自然インフラの他、社会関係インフラ(=つながり、ソーシャル・キャピタル)が大切といわれます。今、住まわれている地域の社会関係インフラはどんな状況か、その構図が見える化し、読み解いてみましょう。
日時	ワークショップ(ゼミ形式) Aコース・Bコースを選択
11月1日(水) 13時30分～15時30分 丹波の森公苑 セミナー室	<b>Aコース 平櫛 武</b> [やりたいことをなりわいにするには～SDGs ミッションを語り合おう～]
11月10日(金) 13時30分～15時30分 丹波の森公苑 セミナー室	<b>Aコース 平櫛 武</b> [なりわいを持続可能なシステムにするには～SDGsの仕組みを利用する～]
12月5日(火) 13時30分～15時30分 丹波の森公苑 セミナー室	<b>Bコース 上岡 典子</b> [地域の暮らしに大切な「つながり」(=ソーシャル・キャピタル)の現状を考える]
12月20日(水) 13時30分～15時30分 丹波の森公苑 セミナー室	<b>Bコース 上岡 典子</b> [グループ討議を通して地域力を読み解く]
令和6年 1月20日(土) 10時00分～11時30分 ※閉講式11時30分～ 丹波の森公苑 多目的ルーム	<b>ワークショップ報告</b> 受講生からAコース・Bコースそれぞれのワークショップから報告します。 ワークショップ講師より講評があります。

※プログラム日程は講師の都合で変更することがありますので、予めご了承ください。